



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月10日

上場会社名 株式会社 第三銀行
コード番号 8529 URL <http://www.daisanbank.co.jp/>

上場取引所 東名

代表者 (役職名) 取締役頭取
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総合企画部長
四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日

(氏名) 岩間 弘
(氏名) 井口 篤
TEL 0598-23-1111
特定取引勘定設置の有無 無

配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	32,298	3.3	5,588	132.9	4,036	207.2
25年3月期第3四半期	31,276	△0.2	2,399	△27.8	1,314	41.7

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 3,482百万円 (64.2%) 25年3月期第3四半期 2,120百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	22.26	11.07
25年3月期第3四半期	7.25	3.51

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	1,917,158	102,272	5.1
25年3月期	1,889,549	100,097	5.1

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 99,054百万円 25年3月期 97,355百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権－期末少数株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	5.50	5.50
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成25年3月期の期末配当金には記念配当50銭を含んでおります。

(注) 上記の「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,600	47.7	4,050	102.9	20.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期3Q	184,358,000 株	25年3月期	184,358,000 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

26年3月期3Q	3,082,131 株	25年3月期	3,118,722 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	181,271,483 株	25年3月期3Q	181,234,983 株
----------	---------------	----------	---------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

A種優先株式	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	— —	0 00	— —	7 30	7 30
26年3月期	— —	0 00	— —		
26年3月期 (予想)				6 80	6 80

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
4. 平成26年3月期 第3四半期決算短信の説明資料	7
(1) 平成26年3月期 第3四半期の損益状況(単体)	7
(2) 「金融再生法ベースのカテゴリーによる開示」(単体)	8
(3) 自己資本比率(国内基準)	8
(4) 時価のある有価証券の評価差額(単体)	9
(5) 預金、貸出金の残高(単体)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期の連結経営成績につきましては、経常収益は、資金運用収益が減少しましたが、役員取引等収益や株式等売却益が増加したことなどから、前年同四半期比10億22百万円増加し322億98百万円となりました。

一方、経常費用は、預金利息などの資金調達費用が減少したことに加え、不良債権処理額や株式等償却が減少したことなどから、前年同四半期比21億67百万円減少し267億9百万円となりました。

その結果、経常利益は、前年同四半期比31億89百万円増加し55億88百万円、四半期純利益は、前年同四半期比27億22百万円増加し40億36百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末における連結財政状態につきましては、総資産は、前年度末比276億円増加し1兆9,171億円となりました。また、純資産は、前年度末比21億円増加し1,022億円となりました。

主要な勘定残高につきましては、預金は、前年度末比212億円増加し1兆7,531億円となりました。貸出金は、前年度末比87億円増加し1兆1,710億円となりました。有価証券は、前年度末比259億円増加し6,099億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年11月14日に公表した数値から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
現金預け金	55,809	66,195
コールローン及び買入手形	40,000	19,000
商品有価証券	836	1,048
金銭の信託	2,170	2,487
有価証券	584,075	609,982
貸出金	1,162,241	1,171,007
外国為替	2,027	2,423
その他資産	17,770	19,103
有形固定資産	27,632	26,511
無形固定資産	3,882	4,521
繰延税金資産	3,830	3,870
支払承諾見返	2,495	2,458
貸倒引当金	△13,221	△11,451
資産の部合計	1,889,549	1,917,158
負債の部		
預金	1,731,920	1,753,168
借入金	24,127	25,269
外国為替	14	5
社債	5,300	5,300
その他負債	16,966	20,605
賞与引当金	778	380
役員賞与引当金	9	—
退職給付引当金	4,001	3,949
役員退職慰労引当金	20	24
睡眠預金払戻損失引当金	161	162
偶発損失引当金	368	349
再評価に係る繰延税金負債	3,287	3,212
支払承諾	2,495	2,458
負債の部合計	1,789,452	1,814,886
純資産の部		
資本金	37,461	37,461
資本剰余金	32,743	32,729
利益剰余金	7,061	9,805
自己株式	△1,146	△1,126
株主資本合計	76,118	78,869
その他有価証券評価差額金	17,655	16,778
繰延ヘッジ損益	48	12
土地再評価差額金	3,533	3,393
その他の包括利益累計額合計	21,237	20,184
新株予約権	30	58
少数株主持分	2,711	3,158
純資産の部合計	100,097	102,272
負債及び純資産の部合計	1,889,549	1,917,158

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
経常収益	31,276	32,298
資金運用収益	20,391	19,729
(うち貸出金利息)	15,410	14,830
(うち有価証券利息配当金)	4,924	4,832
役務取引等収益	3,543	4,070
その他業務収益	3,234	3,378
その他経常収益	4,106	5,120
経常費用	28,876	26,709
資金調達費用	2,351	2,111
(うち預金利息)	2,103	1,860
役務取引等費用	1,358	1,483
その他業務費用	295	355
営業経費	17,159	17,325
その他経常費用	7,712	5,433
経常利益	2,399	5,588
特別利益	19	0
固定資産処分益	19	0
特別損失	20	149
固定資産処分損	20	15
減損損失	—	133
税金等調整前四半期純利益	2,398	5,439
法人税、住民税及び事業税	289	789
法人税等調整額	571	272
法人税等合計	861	1,062
少数株主損益調整前四半期純利益	1,537	4,377
少数株主利益	222	340
四半期純利益	1,314	4,036

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,537	4,377
その他の包括利益	582	△894
その他有価証券評価差額金	532	△857
繰延ヘッジ損益	49	△36
四半期包括利益	2,120	3,482
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,895	3,123
少数株主に係る四半期包括利益	224	359

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株式資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

4. 平成26年3月期 第3四半期決算短信の説明資料

(1) 平成26年3月期 第3四半期の損益状況(単体)

第3四半期の損益状況につきましては、資金利益は減少しましたが、役務取引等利益が増加したことなどから、業務粗利益は前年同四半期比60百万円の増加となりました。また、経費が、基幹系システム移行に係る費用計上を主因として増加しましたが、一般貸倒引当金繰入額が減少したことにより、業務純益は、前年同四半期並みの58億53百万円となりました。

また、臨時損益は、不良債権処理額が減少するとともに、株式等関係損益が改善したことなどから前年同四半期比29億42百万円改善し、△8億95百万円となりました。

その結果、経常利益は、前年同四半期比29億37百万円増加し49億57百万円となり、四半期純利益は前年同四半期比26億83百万円増加し39億75百万円となりました。

(単位:百万円)

	平成26年3月期 第3四半期 実績 (9カ月間)		平成25年3月期 第3四半期 実績 (9カ月間)
		前年同四半期 実績比	
業 務 粗 利 益	22,773	60	22,713
資 金 利 益	17,638	△415	18,053
役 務 取 引 等 利 益	2,112	391	1,721
そ の 他 業 務 利 益	3,022	83	2,939
(うち国債等債券損益)	2,818	69	2,749
経 費 (除く臨時処理分)	16,868	314	16,554
実 質 業 務 純 益	5,905	△254	6,159
コ ア 業 務 純 益	3,086	△324	3,410
① 一 般 貸 倒 引 当 金 繰 入 額	51	△250	301
業 務 純 益	5,853	△5	5,858
臨 時 損 益	△895	2,942	△3,837
② うち不良債権処理額	2,204	△880	3,084
③ うち償却債権取立益	6	△2	8
うち株式等関係損益	1,243	1,556	△313
(貸倒償却引当費用①+②-③)	2,250	△1,127	3,377
経 常 利 益	4,957	2,937	2,020
特 別 利 益	0	△19	19
特 別 損 失	149	113	36
税 引 前 四 半 期 純 利 益	4,808	2,805	2,003
法人税、住民税及び事業税	607	446	161
法人税等調整額	225	△325	550
四 半 期 純 利 益	3,975	2,683	1,292

(注)記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。

(2) 「金融再生法ベースの категорияによる開示」 (単体)

	(単位: 億円)		(参考) (単位: 億円)
	平成25年12月末	平成24年12月末	平成25年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	56	55	57
危険債権	181	242	222
要管理債権	21	30	25
合計	258	328	306
総与信に占める割合	2.17%	2.81%	2.59%

(注) 上記の平成25年12月末の計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権の categoryにより分類しております。

なお、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」と認められる金額のうち、無価値と認められる部分については直接償却相当額として当該金額を減額しております。

(3) 自己資本比率 (国内基準)

	(参考)	
	平成26年3月末 (バーゼルIII基準・予想値)	平成25年3月末 (実績)
単体自己資本比率	10.2%程度	9.61%
連結自己資本比率	10.5%程度	9.82%

(注) バーゼルIII基準は、金融機関の健全性をさらに向上させるため、従来よりも厳格となった自己資本比率規制の基準です。国内基準行には、平成26年3月期末より適用されます。

なお、上記予想値は、経営環境に関する前提条件の変化等に伴い変動することがあります。

(4) 時価のある有価証券の評価差額(単体)

	(単位：億円)				(参考) (単位：億円)							
	平成25年12月末				平成24年12月末				平成25年3月末			
	時価	評価差額			時価	評価差額			時価	評価差額		
		うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損	
その他有価証券	6,080	216	227	11	6,028	131	159	27	5,821	228	240	11
株式	281	96	99	3	220	16	30	13	261	60	66	5
債券	4,782	71	75	3	4,991	91	96	5	4,695	109	111	1
その他	1,016	48	53	4	816	23	32	8	864	58	62	4

(注) 1. 「評価差額」および「含み損益」は、各決算日末時点の取得原価(償却原価法適用後、減損処理後)と時価との差額を計上しております。

2. 満期保有目的の債券及び子会社・関連会社株式で時価のあるものはありません。

(5) 預金、貸出金の残高(単体)

	(単位：億円)		(参考) (単位：億円)
	平成25年12月末	平成24年12月末	平成25年3月末
預金(未残)	17,586	17,266	17,363
うち個人預金	14,075	14,001	13,853
貸出金(未残)	11,746	11,558	11,657

以 上